「情報ほっとライン」は裏表紙から始まります

地域活動応援のための基礎力講座

▮6月28日㈮18時30分～20時45分　▮くるめりあ六ツ門　▮**内容**講演「共に取組む、仲間づくり力」（講師＝NPO法人Coco Change（ココ チェンジ）代表・廣岡睦氏）　▮**料金**500円　▮**定員**30人・先着順　▮**申込期間**5月22日㈬9時～6月27日㈭
㊐地域活動応援塾・くるめ代表の江上さん（☎090・9488・7308、FAX 39・7300、✉musouk7@gmail.com）

野菊の会（かな・実用書道）

▮第1・3水曜10時～12時　▮えーるピア久留米　▮**会費**月額2,000円
㊐同会の野田さん（☎090・8356・8182、FAX 44・1831）

KGE・久留米ギターアンサンブル

▮土曜18時～21時　▮野中生涯学習センター　▮**対象**ギターの経験がある人　▮**会費**月額1,500円
㊐同会の弥永さん（☎090・1086・9969、✉emichan1212@yahoo.ne.jp）

楽器で集う音楽趣味の会

▮年数回日曜　▮えーるピア久留米、公民館　▮**料金**1回500円
㊐同会の杠さん（☎FAX 38・6556）

おわびと訂正

5月1日号4ページの年表に誤りがありました。正しくは「昭和13年市立久留米図書館が開館」と「昭和30年城島町、江上村、青木村が合併し、旧城島町ができる」です。おわびして訂正します。

編集後記

・今号を編集中に、平成から令和に元号が変わりました。改元と同じタイミングで私も広報戦略課から卒業することに。2年間という短い期間ながら、さまざまな人たちと出会い、多くの気付きや刺激をいただきました。取材先はもちろんのこと、他部局の職員や音訳・点訳ボランティアの皆さんなど。たくさんの人たちの支援があって広報紙はできているんだと実感します。5月からは観光を担当します。これからも、人との出会いを大切にしながら、広報戦略課で学んだ広報マインドを忘れず、久留米を盛り上げていきます。（昌）

日曜在宅医

※日曜在宅医は夜間の診療は行っていません。診療時間は各医療機関に問い合わせてください
※医療機関が変わる場合があります。変更は市ホームページ「日曜在宅医」で確認してください

5月19日

内科		
親和胃腸科内科医院	東櫛原町	32-4013
天神胃腸クリニック	東町	35-4701
半井病院	高良内町	22-1308
丸山病院	小郡市	73-0011
小郡三井医師会休日診療センター	小郡市	72-5534
富田病院	城島町	62-3121
坂本内科医院	うきは市	0943-75-2393
外科		
きたがわ整形クリニック	合川町	45-0945
福田病院	大川市	0944-87-5757
高木病院	大川市	0944-87-0001
原鶴温泉病院	うきは市	0943-75-3135
小児科		
本間小児科医院	城南町	35-3619
眼科		
吉田眼科医院	筑後市	54-1888
耳鼻科		
池田耳鼻咽喉科医院	朝倉市	0946-21-1678
歯科		
ルーチェデンタルクリニック	御井町	41-1711
泌尿器科		
宮原泌尿器科クリニック	大木町	0944-33-2424
産婦人科		
みやじまクリニック	大善寺町	51-3188

※**青字**の医療機関では、市の各種健診やがん検診などが受診できます。受診できる検診項目は各病院へ直接問い合わせてください

5月26日

内科		
心血医院	日吉町	65-5129
ファミリークリニック陽なた	梅満町	36-5050
小坪内科・消化器内科	野中町	32-9768
小郡三井医師会休日診療センター	小郡市	72-5534
安本病院	三潴町	64-2032
酒井内科医院	大木町	0944-33-1109
田主丸中央病院	田主丸町	0943-72-2460
外科		
ひまわりAクリニック	宮ノ陣	30-2030
神代病院	北野町	78-3177
高木病院	大川市	0944-87-0001
足達消化器科整形外科医院	大川市	0944-88-2688
田主丸中央病院	田主丸町	0943-72-2460
小児科		
福田こどもクリニック	宮ノ陣	46-6000
眼科		
しらたに眼科医院	篠原町	31-6660
耳鼻科		
あらき耳鼻咽喉科クリニック	御井町	44-6888
歯科		
むねしげ歯科医院	善導寺町	23-5755
産婦人科		
まえだ婦人科クリニック	諏訪野町	36-6200

6月2日

内科		
はるた医院	南	22-8100
行徳診療所	日吉町	32-5175
田中内科クリニック	中央町	32-2655
小郡三井医師会休日診療センター	小郡市	72-5534
富田病院	城島町	62-3121
安本病院	三潴町	64-2032
宿里医院	大川市	0944-86-4069
緒方クリニック	田主丸町	0943-72-1771
外科		
田山メディカルクリニック	津福本町	34-0021
神代病院	北野町	78-3177
高木病院	大川市	0944-87-0001
浮羽クリニック	うきは市	0943-77-7111
小児科		
井上医院	櫛原町	32-3064
眼科		
杉田眼科医院	国分町	22-2020
耳鼻科		
わたなべ耳鼻咽喉科医院	大善寺南	26-8711
歯科		
上野歯科医院	高良内町	43-5239
産婦人科		
福井レディースクリニック	津福本町	39-2288

全日曜、祝日

外科	聖マリア病院	津福本町	35-3322
外科	新古賀病院	天神町	38-2222
内科・外科	嶋田病院	小郡市	72-2236

夜間・休日の子どもの急な病気やケガで心配なときは
小児救急医療電話相談へ
▮平日19時～7時、土曜は12時から、日曜・祝日は24時間受け付け　▮ダイヤル回線37・6116　▮プッシュ回線・携帯電話#8000

救急車を呼ぶか、病院に行くか迷ったときは**救急電話相談・医療機関案内**
プッシュ回線#7119または☎092・471・0099へ。24時間受け付け

※休日当番薬局は久留米三井薬剤師会ホームページへ

シリーズ じんけんの絆

40

情報を読み解く力

情報化社会が進み、たくさんの情報があふれる中、性差別につながる言葉や表現がいまだに多く存在します。西日本新聞社に勤務し、久留米市男女平等政策審議会の委員を務める堺成司さんに話を聞きました。

時代と共に変わる男女観

新聞記者として久留米に赴任した頃、妻の出産と市内での発砲事件が重なりました。生まれたばかりの子どもの顔を5分も見られず、すぐに現場へ向かいました。記者としての使命感から急な取材も当たり前と思う一方で、緊急時以外でも家庭を顧みない働き方が根強い社会に違和感を抱きました。このことをきっかけに、男女の問題を考えるようになったんです。

男女雇用機会均等法の施行から25年の節目に、「新訳男女」という連載を企画。時代と共に男女の関係がどう変わってきたか、子育てや介護、LGBTなど、さまざまな視点から男女問題を考えました。この企画を通して、性差別は身近すぎて人権問題と気付きにくく、無意識のうちに差別してしまっている風潮が根強く残ることが分かりました。

人権を書いて守る

数十年前は記者のほとんどが男性で、目線に偏りのある記事が多くありました。新発売を紹介する記事で若い女性に商品を持たせた写真を使ったり、被害者が女性の場合は大きく取り上げたり。文章の中でも性差別につながる表現が見られました。新聞などのマスメディアは発信力が強い分、誤った情報を流せば悪い影響も広がってしまいます。そこで、平成3年に人権問題のガイドラインを社内で策定。その中で性差別を問い直す項目を設け、「女々しい」など女性差別につながる言葉や「男泣き」といった男性像・女性像を決めつける表現などを改めました。私たちは「人権を書いて守る」という考えを持って取材し、記事にしています。

発信は責任を伴う

インターネット上にはたくさんの情報があふれ、根拠の無いものや誤ったものも混じっています。情報に流されてしまうと、知らず知らずのうちに差別的な考えになってしまうことがあります。自分の価値観をしっかり持って、うそか本当かを読み解く力が必要です。

一方で、SNSで簡単に投稿できるようになり、誰もがメディアになれる時代。個人でも社会的責任を負います。何気ない投稿でも傷つく人が居ると考えてほしいです。

テレビや雑誌、新聞の中にも性差別につながる表現がまだまだ残っています。市民の皆さんが読み解く力を持って情報に接することで、メディア側の責任感も高まり、信用される発信が保たれていくと思います。

㊐男女平等政策課（☎0942・30・9044、FAX 0942・30・9703）

昭和43（1968）年生まれ。福岡市在住